

令和 3 年 第 4 回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和 3 年 4 月 23 日（金）

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

教育総務課長 佐藤勝弘、生涯学習課長 佐藤圭一、学校教育専門監 山家一博

5 開 会 午後 1 時

6 令和 3 年第 2 回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。

一盃森委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

（1）一般事務報告について

報告第 8 号 令和 3 年度町立小中学校児童生徒数について

教育総務課長から説明する。

一盃森委員 | 子供の貧困の割合と一致する。

丹羽委員 | 金ヶ瀬学区は少ない。

鈴木教育長 （委員全員に諮って）承認する。

報告第 9 号 令和 3 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

教育総務課長から説明する。

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。

（2）専決事務報告

なし

8 議 事

議案第 19 号 大河原町立学校評議員の委嘱について

教育総務課長から説明する。

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）可決する。

9 その他

(1) 教育長報告

第1回校長会

1 管理職新体制

校長先生が3名変わり、女性の校長が3名になった。南小学校は、教頭、教務主任も女性になり期待している。

2 令和3年度のスタートに当たって

町で目指す教育の方向を示した。知・徳・体バランスのとれた生きる力をつけた児童生徒の育成は普遍的なもの。

確かな学力 児童生徒の高い学力は、町の自慢になっているし、今後もそのようあって欲しいとの望みである。これまでは小学校が全国平均を越えていたが、中学校が改善傾向であるので、中学校も全国平均を超える期待をしている。

豊かな心 昨年は全学級道徳授業の日が保護者なしで行われた。いじめの認知件数が減っているし、暴力行為も減っている。何等かの影響があったのではないか。町の大きな課題の一つは不登校である。大河原小学校に学び支援教室として、加配教員を配置してもらった。

健やかな体 中学校では部活動をどんどんやって欲しい。体と心を鍛えて欲しい。大河原小学校で仙台大学との連携を3年目であるが次年度以降も継続ができればよい。

3 大河原町の教育の重点

大河原町が取組んできた重点事業をあげた。

学校教育部門では、継続するものや、新たに加えたものに南小学校のコミュニティスクールや教員の働き方改革につながるようなICT支援員、ALT、部活動指導員、給食費の公会計化等二学期制についても議論をしていきたい。

社会教育部門については、前八島課長が地域学校協働活動推進員になっているので学校と地域をつなぐ働きをしてくれるのではないか。学校支援のためのボランティアバンクの登録、スポーツ振興による町事業の推進等も考えている。

4 学力向上

(1) 授業づくりの深め方（石井英真）

若い先生が多いので授業とはこのようなものだと資料から学んで欲しい。

(2) 伸びる子どもは〇〇がすごい（榎本博明）

非認知能力、社会情緒的能力が学力とプラスして心の知能指数（EQ）が必要なので、どのようにして高めるのか取り上げた。

(3) 「努力を信じる心」を育むために教員ができること（ベネッセ）

努力を信じる心は学年が上がると少なくなるが、尊敬できる先生から言葉掛けされると信じるので、教師の姿はいかに重要かがわかる。

5 キャリア教育

キャリアパスポートは、宮城県で行われている志教育と同じもの。積み重ねていく自分の記録を累積していくもの。県の志シートを活用して欲しい。

(1)「子供一人一人の発達を支えるキャリア教育の充実」(文科省)

(2)「志シート 未来への翼」(小4~6、中)

6 交通安全教育

「令和2年度交通安全ファミリー作文コンクール優秀作品集」などを読んで聞かせても良いのでは

7 「二学期制」についての考え方(案)

昨年、多賀城市岩沼市で導入が予定されている。メリットデメリットも研究されているので、PTAや学校で議論し11月頃に判断していただきたい。働き方改革で残っているのは、通信表。2学期制になれば適正な評価ができるのではないかな。保護者への情報提供の機会は1回減るが3者面談等でクリアできるのではないかな。川崎町ではすでに導入されており、村田町、柴田町も検討するとのこと。

8 校長から教職員への声かけ

校長先生からの声かけは励ましになる。

9 入学式等の取り扱いにつて

今年度の新規事業

大学教員を招聘しての研修。教師の指導力の向上が期待できる。

第2回目校長会

1 学力向上について

(1)「教育格差の経済学」

なぜ日本の貧困率が高いのか、原因として母子家庭、非正規労働問題がある。大河原の貧困も要保護、準用保護のパーセントと一致する。貧困の子供達にどのように対応するのか。塾に行けないこどもはどのようにするのか。富裕層はどれだけ塾に行くことができるのか。塾に行っている子は学力が高くなる。秋田県は塾に行っていないが学力が高い。大河原の小学生は秋田県に近い。学校教育でしっかりと指導ができて、家庭でも見ている。中学生は県平均と同じである。塾に行けない子にどのような学習の機会、勉強の機会を与えるのか課題である。

(2) 全国学力・学習状況調査の平均正答率をどう受け止めるべきか？(田端健人)

全国学テの捉え方。最上位と最下位の正答数の差は1問から2.2問くらい。確実にどの子もできる問題を多くすることが大切。トップと下位の間に入っていることを判断基準にすればよいのではないかな。

大河原町のことについて。8年間の追跡調査の結果。最下位層群が一番伸びしろがある。上位層は黙っていても点数を取る。最下位層に素晴らしい可能性がある。可能性をもって指導して欲しい。

(3)「対話的な学び」を考える

こども達の対話の質をあげていくことが必要であり、じっくり聞いて、取り上げて褒めていくことが必要。

2 不登校児童生徒

(1) 不登校等児童生徒数の推移

不登校の分析をするとケアハウスに 10 人、学校の別室は 30 人。ケアハウスの 3 倍が別室で苦しんでいる。県からの指定の学び支援教室は別室の子を改善しようよという取組。改善できれば不登校の数も減ってくるのではないかな。

(2) 急がば回れのオンライン授業（長尾康子）

大阪でオンライン授業が混乱していた。大河原町も学校と家庭がまだつながっていない。早くつながりたいが、できることからやってみることも必要。不登校の子や休みがちな子を学校とオンラインでつないだら、安心して学校に来れるようになった事例がある。ICT の活用の仕方によって改善できる事項がでてくるのではないかな。

3 学校経営等

- 1) 「人事は 4 月から」
- 2) 校長を支える体制をつくる
- 3) 不易と流行を使い分ける
- 4) 校長会で「学校便り」の交換
- 5) 不祥事根絶のための決意表明

○大河原教育事務所から

1 教職員の事故防止について

- (1) 交通事故防止
- (2) セクハラ・パワハラ・わいせつ行為等に係る事故防止
- (3) 体罰の根絶 ～隠さないことが根絶につながるという意識～
- (4) 金銭にからむ事故防止
- (5) 病気休暇や分限給食中の職員に対する管理職の対応
- (6) 情報等の管理の徹底

2 教職員に対する校長の指導について

- (1) 教職員の意欲を喚起しながらの指導
- (2) 勤務時間の把握と業務の精選
- (3) 学校における 1 人職への配慮
- (4) 危機管理

3 学事関係の主な日程（予定）

舟 山 委 員	厳しい環境にある子も伸びしろあるのが、とてもうれしかった。子供がこんなに変われると先生に教えて欲しい。
一 盃 森 委 員	研修の成果を現場に還元して欲しいと話していた。勇気づけられる数字だった。教育の営みは継続継承していく中で、取り入れていく。個別最適化。先生には追及して欲しい。提言されていることを真摯に受け止めて欲しい。
小 山 委 員	尊敬できる教員から、認められると頑張れる。先生がちょっとしたことを褒めてくれたので、少しずつモチベーションが上がっていく。伸びしろがあるのはいい。
丹 羽 委 員	二学期制になるメリット。三学期制にもどったデメリットは何か。
鈴 木 教 育 長	長崎県は学力向上になると、二学期制にしたのにかわらなかった。女川町は、近隣との関係もあって三学期制に戻した。
一 盃 森 委 員	以前より二学期制の導入の話をしてきた。合理性のある方向性だと思っている。先生の働き方改革の中で、こども達と向き合える時間に大きく寄与できるのではないかな。この方向性で進めて欲しい。コロナの関係で昨年は、2回しかだしていなかったが、保護者との評価について大きな問題があったとは聞いていない。それを補完するやりとりがあったのではないかな。中3については、受験があるので2学期で評価をしなくてはいけない。理にかなっているのではないかな。広域で二学期制をとるのはいいのではないかな。
丹 羽 委 員	田畑先生の0.5問正答数があればいいというのを見ると、先生方も余裕ができるのではないかな。寄り添って指導できればよいのではないかな。
舟 山 委 員	二学期制がよいと思うが懸念は、3年生の後半に伸びる子は救えないのではないかな。
山 家 専 門 監	ぎりぎりまでを評価して調査書用の評定にする。

(2)課長報告

教育総務課長

夏季休業中のプール開放の中止について

一 盃 森 委 員	水難事故についての指導を徹底して欲しい。
小 山 委 員	授業の中で着衣でのプールの授業があればよい。夏休み前だと良いのではないかな。
山 家 専 門 監	水質の管理もあって、プール授業の最後に行っている。

大河原町教育委員会と教職員との意見交換会について
行事予定について

一 盃 森 委 員	大河原中学校の工事が始まったが、駐車場はどうするのか。工事車両の出入りは、どのようになっているのか。来賓駐車場はどうなっているのか。
教 育 総 務 課 長	職員用の駐車場になるが、表示や案内を確認する。

生涯学習課長

行事予定について

文化団体が高齢化を理由に組織力が落ちていて、組織の維持も懸念されている。民俗収蔵室について 地震により一般開放ができなくなった。新たに仮設を建設し一時保管をする。

駅前図書館は貸し出しのみ再開している。入口でやりとりをしている。

一 盃 森 委 員	蔓延防止は 11 日までに延長になったが、スケジュールはどうなるのか。
生 涯 学 習 課 長	予定としては 12 日から。
小 山 委 員	図書館の閲覧をしていないのか。
生 涯 学 習 課 長	図書館の入り口でやりとりをしている。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回は令和 3 年 5 月 21 日（金）午後 2 時から開会を開催する。

11 閉会宣言 午後 2 時 45 分

令和 3 年 5 月 21 日

署名委員

署名委員